

第 11 回京都山城便教会

平成 29 年 5 月 7 日 (日)

第 11 回京都山城便教会は、平野達郎先生がこの 4 月から校長として赴任された城陽市立北城陽中学校で実施しました。便教会で学ぶという目的はもちろんですが、それに加えて平野先生の校長就任を祝福しようと 13 名の先生にお集まりいただきました。そんな方々の集まりですので、最初から温かい雰囲気スタート。

毎度のことながら、今回も開講式でテーマをお伝え致しました。今回のテーマは「不易と流行」。この言葉は最近の私のテーマでもあり、新しいものも取り入れながら、大切にしていけるべきことは何かを見極めることが大切で、今日のトイレ掃除でも、そんなことを少し思っていたきながら、臨んでいただきたいとお伝えしました。

また今回初めての取り組みですが、リーダーを公募で募りました。今まで何回かリーダーを務めさせていただいて思ったのは、リーダーが一番気付きが多いということ。より一層主体的に関わろうとし、そして全体を見ようとする中で、気付きが多くなると実感。そこで募ったところ、ちょうど 2 名の先生に名乗り出てくださいました。二人ともお若いのですが、「できるかできないかではなく、やるかやらないか」で判断いただき、またそのリーダーを支えられるように他の人は動くことを確認して、トイレ掃除に向かいました。



会場となるトイレは、37 年の汚れがこびりついており、水垢がこれほどまでに手強いのかということがよく分かるトイレでしたが、お集まりいただいた皆さんは、すぐに便器と向き合い、磨きはじめました。トイレの中は、シュッ、シュッという音だけが響き、水垢や尿石と格闘されている姿が印象的でした。

手強いのは便器だけではなく、壁も洗面台も私が経験した中では過去最高の強敵でした。壁の汚れは、割と簡単に取れるというイメージでしたが、今日の壁は相当に時間がかかりました。今日 1 日で全てきれいにするのは無理があると判断し、メッセージを残すようにしてみました。さて、どれだけの生徒に気付いてもらえるでしょうか。



そんな強敵だらけのトイレ掃除でしたが、最終的にはこのように見事に磨き上げていただきました。それと同時に、先生方の笑顔もより一層晴れやかに。初めて参加された2人の先生も多くの気づきを得られたようでした。



写真撮影の後には、おにぎりを食べながらの交流会。今回の交流会は、またまた深い気づきの交流となりました。

- ・今回のテーマは「不易と流行」だったが、手で磨くか、道具を使うかと感じた。スクレイパーなどの道具を使うとすぐに汚れが取れるが、それでいいのだろうかと感じ、サンドメッシュでやっぱりやろうと思った。
- ・道具を使うことできれいになるのはいいが、最後は手で確認すべき。教育でもツールを与えるだけでなく、手を入れることが大事だと感じた。
- ・見えないところをいかにきれいにするかにこだわった。他から「すごくきれい」という声があると、やはり見えるところをもっときれいにした方が良かったかと思ってしまうが、見えないところをきれいにすることに最後までこだわってできたことは自信になった。もしそれをしなかったら、この汚れはずっとここに残る。見えないところにこだわってやって良かった。
- ・不易は温かさ、流行は明るさ。新しいものをもらったり、新しいものを使うと気分が明るくなる。しかし、使い続けると愛着が湧く。だから流行は広がりを持ち、不易は深まりを感じられる。
- ・不易はやはり「磨き続ける」ということ。トップになると、ぶれてしまいそうになる。自分自身が軸を持ち、校長道を磨いていきたい。その中で、同僚の先生が参加してくれたのは非常に嬉しい。
- ・リーダーをやってみて、「仲間っていいな」と感じた。個室に入って他の人は見えないのに、シュッシュという磨く音が聞こえるだけで、壁の向こう側が見えてくる感じがあり、勇気を与えてもらった。一人でやっていれば、この感じはなかったし、リーダーをやろうと思ったので感じられた気持ちである。
- ・何でも粘り強くやることが大事だと改めて感じた。そして、色んな人が支えてくれていることを感じた。仲間がいるからできることがたくさんあることを感じた。

交流会では、今回リーダーをやってくれた二人ともから「仲間っていいな」という感想が聞かれました。リーダーになると、まわりからの評価が気になったり、みんなをリードしなければと変に気負って孤独になることがあります。

リーダーの存在が大事でありながら、フォロワーの存在も大事であることをお二人の発言から感じました。日本で昔から大切にされてきた「和の精神」。トイレを磨きながら、不易の根底にあたる部分に気付かせていただきました。

次回は8月。さらにみなさんの和がつながるような京都山城便教会を開催していきたいと強く感じて、第11回を終えました。

(小笹大道)

